

令和元年 8 月定例記者会見

【8 月 1 日(木)午後 1 時 3 0 分／4 階特別会議室】

会見項目

- 1 室蘭市と宮古市との災害時等における相互協力応援に関する協定の締結について (危機管理課)
- 2 宮古港海戦 150 周年記念三陸鉄道ラッピング車両披露について (観光課)
- 3 宮古・下閉伊地区ふるさと就職面談会について (産業支援センター)
- 4 2019 プロ野球イースタン・リーグ公式戦について (生涯学習課)
- 5 「爆笑! みやこ寄席」について (文化課)
- 6 令和元年度宮古市総合防災訓練について (危機管理課)
- 7 「第 24 回目黒のさんま祭り」参加について (水産課)
- 8 宮古市生涯学習市民のつどいについて (生涯学習課)

会見内容

別紙資料 1 ～ 8 のとおり。

記者との質疑

I A T 記者

室蘭市との協定の時、市長はどのような行程で行けますか。

市長

前日に八戸港発のフェリーで向かい、次の日の朝苫小牧港に着いて3時からの締結式に向かいます。

I A T 記者

ラッピング車両の意義は、宮古港海戦 150 周年をPRすることだと思いますが、ここまで力を入れる理由は何ですか。

市長

宮古港の歴史を外に発信するとともに、三陸鉄道の魅力アップにつなげることを目的としています。列車が宮古を背負って走り、三陸沿岸を外にPRするアイテムの一つに宮古港海戦を加えたいです。

I A T 記者

プロ野球イースタン・リーグ公式戦に関しての取材規制はありますか。

市長

事前に申し込みをお願いしたいと思います。

I A T 記者

目黒のさんままつりですが、今年のさんまのここまでの状況はいかがですか。

市長

昨日水産庁から、今年のさんまの来遊予想が発表され、歴史的不漁だった一昨年を上回るものの、昨年は下回る予想となっております。今年も決して豊漁になる見込みではありませんが、宮古市でさんまを目黒にお届けし、まつりを成功させるよう対応します。

I A T 記者

7千尾が丁度良い数量ですか。

市長

人員、焼き台の数、スペース、交通規制の面で現在の数量になっています。

読売新聞記者

宮古港海戦についてですが、講談を挟んで講演がある理由は。

市長

皆さんが話に入りやすい講演からの開催にしました。

岩手日報記者

室蘭市との協定式に市長の他に宮古市から参加する方を教えてください。

市長

議長、市内自主防災組織から3名、担当者です。

岩手日報記者

今回の総合防災訓練で、例年と違う内容は。

市長

今回は、平成26年度以来の川井地区での開催になります。先日オープンした里の駅おぐに周辺での開催になります。3月の訓練では天候が悪くてドローン訓練を行えませんでしたので今回実施いたします。また、防災ヘリによる救助救出訓練が見どころになります。

台風10号の時に、川井地区の被災が多かったことから、洪水土砂災害の対策として今回は川井地区での実施になりました。

NHK記者

ドローン訓練は協定を締結した方が担当されますか。

市長

はい、そうです。

記者

絆まつりの観客数はどのくらいでしたでしょうか。また、市長の手応えはいかがですか。

市長

2日間で、約3万3千人の来場者数でございました。手応えとしては、県内33市町村から郷土芸能団体に演奏していただいた他、駅前ではグルメまつりも開催し、成果は十分にあったと思います。各団体が発表する機会を持てたことは、みんなでまとまる自信につながったのではないかと思います。来年もまた、開催することを期待したいです。

室蘭市と宮古市との災害時等における 相互協力応援に関する協定の締結について

趣旨・目的	大規模な災害時において、被害を受けた市の応急対策及び復旧活動が迅速かつ円滑に遂行されるよう、相互の援助体制に関し協定を締結するもの。
日時	【協定調印式】令和元年8月20日(火) 午後3時から3時15分
場所	室蘭市民会館（室蘭市輪西町二丁目5番1号）
主催	室蘭市、宮古市
内容	■出席者 室蘭市：青山 剛 市長、小田中 稔 議長 宮古市：山本 正徳 市長、古舘 章秀 議長 ■協定締結に至る経過 ・平成30年6月にフェリー航路が開設し、災害時にはこの航路を活用することにより迅速かつ有益な支援・協力が可能であることから発災時の応援協定について協議を進め、協定締結の運びとなったもの。 ・なお、平成30年9月の北海道胆振東部地震に際しては、宮古港フェリーターミナルは室蘭市をはじめとした北海道被災地への支援の拠点として機能しました。 ■主な協定内容 (1) 支援に必要な物資及び機材の提供 (2) 救援、応急復旧に必要な職員の派遣 (3) 平時における相互協力
特記事項	■両市の自主防災組織の交流事業の実施 ・相互協力の一環として、協定調印式と同日に開催される室蘭市防災イベントに宮古市内の自主防災組織から3名（<u>小山田防災会・大通四丁目自主防災会・第20分団管内防災会</u>）を派遣し、両市の自主防災組織の交流を図ります。 ・なお、このイベントで山本市長が特別講演を行う予定。
問い合わせ	市危機管理課（☎68-9111）

宮古港海戦 150 周年記念三陸鉄道ラッピング車両披露

趣旨・目的	今年度、実施している「宮古港海戦 150 周年記念事業」の一環として、三陸鉄道沿線市町村の皆様へのPRを行うため、特別ラッピング列車を運行します。
日時	8 月 5 日(月) 午後 4 時～午後 4 時 3 0 分
場所	宮古駅（旧三陸鉄道 0 番線ホーム）
主催	宮古港海戦 150 周年記念事業実行委員会（事務局：宮古市観光課）
内容	■宮古港海戦 150 周年記念事業をPRするラッピング車両を関係者、マスコミに向けて、披露します。 ※ラッピング車両は 7 月 1 9 日（金）から運行しています。 】
特記事項	◎ラッピング車両の運行期間は 7 月 1 9 日（金）から 1 0 月 2 4 日（木）、運行区間は、三陸鉄道久慈駅から盛駅までの間。 ◎お披露目の際には特別に、旧三陸鉄道の駅舎寄り、0 番線ホームに車輛を停車します。 ◎同日の午後 2 時から午後 4 時までは、イーストピアみやこ「多目的ホール」を会場として、「宮古港海戦講談上演会」、「宮古港海戦 1 5 0 周年記念講演会」を開催します。また、同日から 9 月 3 0 日までイーストピアみやこ「まちの情報プラザ」において、宮古港海戦資料展も開催します。
問い合わせ	宮古港海戦 1 5 0 周年記念事業実行委員会事務局 （市観光課内 ☎ 6 8 - 9 0 9 1）

宮古・下閉伊地区ふるさと就職面談会について

趣旨・目的	宮古・下閉伊地区の事業所の労働力確保を目的とし、求職者と事業所が直接面談する機会を設け、当地域の就職促進と企業の人材確保を図る。
日時	8月9日(金)午後1時30分～3時30分（参加者受付：午後1時～）
場所	市民総合体育館（メインアリーナ）
主催	宮古地域雇用対策協議会、宮古公共職業安定所
内容	・参加企業と就職希望者の個別面談 ・就職相談、求人情報の提供などを行うハローワークコーナー等の開設 【配布資料のとおり】
特記事項	◎参加企業：43社（7月18日現在） ◎参加者が面接に集中できるよう、<u>会場内での取材可能時間は、開会から30分間（午後1時30分～2時まで）とする。</u>なお、会場外での取材等は可能。
問い合わせ	宮古地域雇用対策協議会（宮古公共職業安定所内 ☎63-8609）

2019 プロ野球イースタン・リーグ公式戦について

趣旨・目的	宮古運動公園野球場において、プロ野球イースタン・リーグ公式戦を開催し、東日本大震災からの復興を全国の皆さんに発信します。
日時	8月11日（日）13時試合開始（開場予定は午前11時10分）
場所	宮古運動公園野球場
主催	楽天野球団、岩手日報社、IBC 岩手放送 （共催／宮古市・宮古市教育委員会）
内容	プロ野球イースタン・リーグ公式戦 東北楽天ゴールデンイーグルス vs 読売ジャイアンツ
特記事項	◎小学生以下の子どもには、イーグルスキャップをプレゼント ◎来場者全員に、ジェット風船プレゼント ◎選手ふれあいイベントを実施（キャッチボール、ウェルカムハイタッチ、ベースランニングなど） ◎現在、バックネット裏自由席、内野・外野自由席共にチケット販売中。 【参考】8月12日（月）は岩泉開催
問い合わせ	株式会社楽天野球団（☎050-5817-8192） 市教育委員会事務局 生涯学習課（☎68-9120）

「爆笑！みやこ寄席」について

趣旨・目的	宮古市の寄席文化定着化と市民の心の復興を推進するため、公益社団法人落語芸術協会と連携して「みやこ復興寄席」を毎年開催してきた。 <u>今年は、3月に予定している「みやこ復興寄席」とは別に、落語芸術協会との共催で「爆笑！みやこ寄席」を開催します。</u>
日時	8月25日（日）午後2時～4時（開場は午後1時30分）
場所	宮古市民文化会館 中ホール
主催など	【主催】 公益社団法人落語芸術協会仙台事務所 【共催】 宮古市・宮古市教育委員会 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター（宮古市民文化会館指定管理者）
内容	出演者 ろっかていゆうか ◆六華亭遊花 さん（落語） ◆ニードル（漫才）
特記事項	◎入場料は、前売2,000円、当日2,500円。全席自由。 ◎チケットは、宮古市民文化会館、リラパークこなり、マリンコープDORA、キャトル宮古、かんの書店本店、宮古市役所生協、セブンイレブン・ファミリーマート、CNプレイガイドで販売中。
問い合わせ	市教育委員会事務局 文化課（☎65-7526）

令和元年度宮古市総合防災訓練について

趣旨・目的	災害対策基本法及び宮古市地域防災計画、宮古市水防計画に基づき、防災関係機関が一体となり、総合的かつ実践的な訓練を実施することにより、防災関係機関相互の協力体制と市民の防災意識の向上を図る。
日時	令和元年 8 月 2 5 日（日）午前 8 時 3 0 分から午前 1 0 時 3 0 分まで
場所	小国地区 （宮古市小国総合交流促進施設「里の駅おぐに」、小国地域振興センター、川井トレーニングセンター、小国出張所及びその周辺）
主催	宮古市
内容	大雨・洪水・土砂災害への対策について防災関係機関の各種訓練を行うとともに、防災資機材を展示。 ◆訓練想定 ・午前 6 時に大雨洪水警報、6 時 30 分に土砂災害警戒情報が発表される。 ・市は災害対策本部を設置、小国地区に「訓練・警戒レベル 4・避難指示（緊急）」を発令。 ・小国地区ではライフラインの寸断や堤防の一部で氾濫危険箇所・洗掘が確認された。 ◆主な訓練項目 救助・救出訓練（防災ヘリ）、物資輸送訓練（ドローン）、水防工法訓練、火災防御訓練、応急救護所開設・救護訓練、災害情報発信訓練 など
特記事項	・川井地域での訓練実施は平成 26 年度に「やまびこ館」で実施して以来 5 年ぶり。
問い合わせ	市危機管理課（☎ 6 8 - 9 1 1 1）

「第24回目黒のさんま祭り」参加について

趣旨・目的	ＪＲ目黒駅前で行われる「目黒のさんま祭り」に参加し、さんまや観光のＰＲ等を通して、「水産のまち みやこ」の震災からの復興を首都圏へアピールし、都市住民との交流や水産物の消費拡大を目的とするもの。
日時	9月8日(日) 午前10時～午後2時
場所	目黒駅前商店街（東京都品川区上大崎）
主催	主催：目黒駅前商店街振興組合 後援：品川区 協力：宮古市、徳島県神山町、栃木県那須塩原市、和歌山県みなべ町
内容	■東京宮古同郷会や品川区職員有志「みゃっこ隊」の皆さんと一緒に、宮古港直送のさんまを炭火焼きでお振る舞い。新鮮生さんまも無料配布。 ◇「宮古の塩」を使った炭火焼きのさんま 6,500尾をお振る舞い。 生さんま（500尾）も無料配布。 ◇宮古の特産品を購入した人に、さんまのつみれ汁を提供（250食）。 ◇宮古水産高校の生徒による「さんまの特製缶詰」等の販売と、宮水太鼓の太鼓演奏を披露。 ◇宮古市観光親善大使の演歌歌手・小田代直子さん の歌謡ショー ■「目黒のさんま祭り」で行われるその他の催し 目黒のさんま寄席、協力4都市のふるさと物産展、商店街ワゴンセール、くじ引き抽選会、アートバルーンプレゼントなど
特記事項	◎さんま 7,000尾を宮古港から会場に直送。 ※宮古市では、今回で21回目の参加 ◎配送には、鮮度を保持するため海洋深層水^{ごおり}氷を使用。
問い合わせ	市水産課（☎68-9099）

宮古市生涯学習市民のつどいについて

趣旨・目的	市民一人ひとりが自主的・自発的に学ぶ生涯学習の意識啓発を図ります。
日時	9月21日(土) 午前10時～午後4時30分
場所	イーストピアみやこ 市民交流センター
主催	宮古市教育委員会
内容	市民が実際に各種サークル活動の見学・体験する機会を設けることで、生涯学習活動を始め・触れるきっかけをつくります。また、著名人の講演会を開催し、意識啓発を図ります。 ① 市内サークルの活動実演・参加体験 <u>市内のサークル団体に、市民交流センターの各部屋を使ってサークル活動や活動紹介をしてもらいます。見学自由。体験あり。</u> ■参加予定サークル（7団体） フラダンスサークル、英会話サークル、折り紙サークル、3B体操サークル、日本画サークル、二胡^{にこ}(弦楽器)サークル、ホームспан(毛織物)サークル ■場 所 運動スタジオ、会議室、和室、創作スタジオ、多目的ホール ■タイムスケジュール ホームページ等で追ってお知らせします ② 講演会 ■時 間 午後1時30分～午後3時（午後1時開場） ■場 所 市民交流センター 多目的ホール ■講 師 <u>プロフィギュアスケーター</u> ^{すずきあきこ} 鈴木明子氏 ■演 題 ひとつひとつ。少しずつ。～自分らしく前へすすむ～ ■対 象 市民 ■定 員 150名 ■参加料 無料（ただし、入場整理券が必要） ■整理券の配布 市広報8月15日号でお知らせします
問い合わせ	市教育委員会事務局 生涯学習課（☎68-9119）